

資料番号	地域 2
------	------

令和 5 年 1 月 19 日
課 名 地域政策局中山間地域振興課
担当者 課長 藤谷
内 線 2631

「元気さとやま応援プロジェクト」の実施状況について

1 要旨・目的

中山間地域に暮らす人々が将来に向けて地域の元気さを実感できる環境を創出するため、本年度から新たに取り組んでいるこのプロジェクトの実施状況などについて報告する。

2 現状・背景

- このプロジェクトは、人口減少・高齢化が進む中山間地域において、地域づくりに取り組む人材のプラットフォーム『ひろしま里山・チーム500』（以下、「チーム500」という。）の登録者が、地域を巻き込み、地域と協働して行う新たな活動の立ち上げに必要な経費に対する支援を本年度から行っているものである。
- これまでの間、関係市町と連携して、対象となる取組の掘り起こしを行うとともに、地域に効果をもたらす活動となるよう、その取組内容に対する助言などに努めており、取組の実施を通じて、地域の活性化が図られつつある。

3 プロジェクトの概要

- (1) 対象者：チーム500の登録者（令和4年12月末現在登録者数 570名）
- (2) 事業内容（実施内容）
 - 地域住民との接点の拡大を図るコミュニティ支援活動や、仕事づくりを通じた地域との新たなつながりを生み出す活動など、地域に密着した新たな活動の立ち上げに必要な経費を支援（補助率 ～補助対象経費の2/3（補助上限額1,000千円））
 - 交付決定件数（12月末現在） 69件
- (3) スケジュール
令和4年5月から募集開始し、12月末で受付終了
- (4) 予算（単県） 53,260千円

(5) 事業効果等

- 地域に根差し、地域住民の方々を巻き込みながら、地域の課題解決につながる取組が実施されている。

分野	件数
地域住民同士の交流の拡大を図るコミュニティ支援活動	23
仕事づくりを通じた地域との新たなつながりを生み出す活動	46

- 取組の実施にあたり、当該地域の住民等関係者からは、期待、提案、感謝の言葉などが寄せられており、取組が地域へもたらす影響は大きいと考えている。

取組内容	地域の反応
学生と地域住民の協働・共創の拠点づくり	○ 空き店舗が、活気を生み出す場所に再生されることへの期待が寄せられている。
空き家を活用した温泉の復活	○ 温泉復活に向けて地元のガイドの会立ち上げの提案があり、一緒に活動を始めることとなった。
次世代への継承に向けた伝統行事の映像化	○ 盆踊りの映像化の取組が地元ケーブル TV で紹介されたところ、地域の方から感謝の言葉が寄せられた。

- 事業着手後、取組に共感した地域内外の方々から協力の申し出など、新たな動きも出てきており、取組の輪が広がっていくことが期待されている。

取組内容	新たな動き
宿泊体験施設の整備	○ 広島県観光連盟の関係者から、JR広島駅北口周辺のホテルと連携した、インバウンド向けの里山体験プログラム（日帰り）の提案が寄せられている。
耕作放棄地を活用した観光農園の整備	○ ハウス建設等への協力をきっかけに、近隣の農家とグループが結成され、観光農園内に朝採れ市場の開設運営の計画が持ち上がっている。
地域まるごと博物館プロジェクト	○ 活動に関心の高い企業から博物館スタッフのユニフォーム、昆虫の研究者から標本が提供され、地元高校生からボランティアスタッフへの参加の申し出があった。

(6) 今後の対応

引き続き、チーム500登録者の自主性を基本としつつ、地域により大きな効果をもたらす取組としての展開につながっていくよう、市町と密接な連携の下、適切な助言などに努めていく。

4 その他（関連情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/semi-mt/genki-satoyama.html>

（県HP：元気さとやま応援プロジェクトの紹介ページ）